

## 戦火を免れた

## 位牌

「まいコレ」では、収蔵庫に眠るイチ押し<sup>い</sup>の出土品を、月替わりでご紹介。

今回は、王府にかかわる女性<sup>は</sup>のものと  
と思われる、彫刻の美しい位牌です。

■ 出土地：県営首里城公園 中城御殿跡

この位牌<sup>いはい</sup>は木製で、朱及び茶色の漆<sup>うるし</sup>が用いられています。左右<sup>ほうおう</sup>に鳳凰と瑞雲<sup>ずいうん</sup>、上部<sup>にちりん</sup>には日輪・瑞雲・雨<sup>れんべん</sup>ならびに連弁<sup>ちみつ</sup>が緻密に彫刻されています。また、金箔と銅箔の色調の違いから、鳳凰と日輪が浮き立つように輝いて見えます。

位牌は、蓋<sup>ふた</sup>のある排水溝からブリキ缶に納められた状態で発見されました。その状況から、戦時中に被害が及ばないよう位牌を避難させた可能性が高いと考えられます。

札板<sup>ふだいた</sup>の一部に微かに墨書<sup>すみがき</sup>が見えるため、赤外線照射して解読を試みたところ「妙」の字が確認できましたが、対象となる人物の特定には至りませんでした。



▲ 赤外線照射により確認された墨書

◀ 位牌の出土状況